

# 健康のかけはし

大田病院の「理念」

私たちの病院は

- ①だれでも安心してかかれる病院
  - ②心の通いあう、あたたかい病院
  - ③地域の人々と共に歩む病院
- であることをめざします。

No.90

2026年1月吉日

大田病院

〒143-0012 東京都大田区大森東4-4-14

☎ 03-3762-8421 発行責任者 杉山 耕佑

大田病院は基幹型  
臨床研修病院です

明けてしましておめでとう  
ございます。  
今年の正月は、大災害  
も大事故もなく連日、駅  
伝を見ながらゆっくり過  
ごしました。ニューイヤ  
ー駅伝で元箱根ランナー  
がルーキーとして活躍し  
たり、箱根の山登りでの  
驚異的な区間新記録、4  
年生たちの魂の走りなど  
見所満載の3日間でした。  
ああいいうスピードで走れ  
ると気持ちいいんだらう  
なあと思います。自分  
の日々のランニングは彼  
らの半分以下のスピード  
で、年々、走れる距離も  
短くなって戻つばみ傾向  
ですがせて細々とでも  
続けていきたいと思いま  
す。

が閉院してしまうという  
事態が続きましました。それ  
ぞれの病院が自力で努力  
しても解決できず、医師  
会をはじめ各医療団体が  
緊急の補助金の要請や診  
療報酬の改善を要求しま  
した。4月の診療報酬の  
改定では増額になるよう  
ですが、はたして病院が  
日常診療に必要な物や人  
を十分揃えることができ  
るようになるのかまだ見  
えない感じがします。

1月4日の朝刊の1面  
はアメリカによるベネズ  
エラ攻撃でした。ウクラ  
イナ、パレスチナでも戦  
争終結の交渉しながら戦  
闘が続く状態に、新たな  
火の手が上がったのは悲  
しい限りです。人と人が  
殺し合いで問題解決をし  
ようとすると愚かさをなぜ  
越えられないのでしょうか。  
日本も軍事費を大幅  
に増額し、核の保有に言  
及したり、日中関係を悪  
化させたりきな臭い雰囲気  
に注意していかなけれ

ばならないと思います。  
大田病院は救急医療を  
含む急性期医療、リハビ  
リテーション、在宅医療  
を通して地域のみな様の  
命とくらしを守る活動を  
発展継続していきます。  
今年もよろしくお願い  
いたします。

## 新年のご挨拶

大田病院  
院長 田村 直

昨年

の医療の現場では  
診療報酬の影響やコロナ  
後の患者さんの受診動向  
の変化、物価の高騰など  
で経営状態が急速に悪化  
し、多くの病院が赤字と  
なり、地域の中核病院や  
かかりつけのクリニック

が閉院してしまうという  
事態が続きましました。それ  
ぞれの病院が自力で努力  
しても解決できず、医師  
会をはじめ各医療団体が  
緊急の補助金の要請や診  
療報酬の改善を要求しま  
した。4月の診療報酬の  
改定では増額になるよう  
ですが、はたして病院が  
日常診療に必要な物や人  
を十分揃えることができ  
るようになるのかまだ見  
えない感じがします。

1月4日の朝刊の1面  
はアメリカによるベネズ  
エラ攻撃でした。ウクラ  
イナ、パレスチナでも戦  
争終結の交渉しながら戦  
闘が続く状態に、新たな  
火の手が上がったのは悲  
しい限りです。人と人が  
殺し合いで問題解決をし  
ようとすると愚かさをなぜ  
越えられないのでしょうか。  
日本も軍事費を大幅  
に増額し、核の保有に言  
及したり、日中関係を悪  
化させたりきな臭い雰囲気  
に注意していかなけれ



ばならないと思います。  
大田病院は救急医療を  
含む急性期医療、リハビ  
リテーション、在宅医療  
を通して地域のみな様の  
命とくらしを守る活動を  
発展継続していきます。  
今年もよろしくお願い  
いたします。

## 大田区合同緊急医療救護所訓練を行いました



11/29 (土) に緊急医療救護所の訓練を行いました。

緊急医療救護所とは、大規模地震などの災害時に大田区が  
臨時で設置する施設です。主に病院前に設置され、負傷者に  
対しての応急処置や、トリアージ（治療優先順位の決定）な  
どの医療救護活動を行います。

訓練当日は町会・自治会の方々にも【けが人役】【病人役】  
として参加して頂きました。また、大田区職員の方をはじめ  
に、各医師会、薬剤師会、医療職ボランティアの方にもご  
協力をいただきました。(大田病院は災害拠点連携病院です)

事務長 杉山 耕佑

新しい年のはじまりに、皆さまの健康をお祈り申し上げます。  
旧年中は当院の医療活動にご理解をいただき、ありがとうございました。  
本年もよろしくお願ひいたします。

## 透析室

透析室の患者さまは週3回透析治療に通院しています。月・水・金は夜間透析もあります。お一人での通院が難しい方へは、送迎車サービスを行っております。私たちの部署ではフットケアを中心に全身の健康を見守る年間検査を行い、近隣の医療機関とも連携し、大田病院へも必要時には入院できる体制を整えています。今年も透析室職員一同、患者さまの健やかな生活を支えられるよう頑張っていきたいと思ひます。



## 在宅医療課

在宅医療課では現在、約280名の患者さまを担当し、月に約570件の訪問を行っています。平日の訪問診療に加え、土日・祝日も24時間往診に対応し、皆さまの暮らしに寄り添った医療を大切にしています。また、病院の在宅医療部門として、入院が必要となった際には院内での調整を行い、切れ目のないサポートを心がけています。今年も患者さまが安心してご自宅や施設で過ごせるよう、スタッフ一同努めてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。



## 救急外来

救急外来は、区南部医療地区の東京ルール幹事病院として積極的に救急車を応需し、24時間体制で診療にあたっています。休日・夜間を問わず、救急医療を必要とする地域の皆さまが安心して受診できるよう、また、区南部地域の医療機関と連携し、患者様の状態に応じた最適な医療につなげる役割も担っています。法人内診療所で通院や訪問診療を受けている患者さまだけでなく、地域の皆さまの救急医療に関するご相談も受け付けておりますので、受診の判断に迷った場合もお気軽にご相談ください。

